

2020年6月25日

各位

三井住友信託銀行株式会社

### ポジティブ・インパクト・ファイナンス

#### (資金用途を特定しない事業会社向け融資タイプ)の契約締結について

#### (三井化学株式会社)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:橋本 勝、以下「当社」)は、三井化学株式会社(代表取締役社長:橋本 修、以下「三井化学グループ」)との間で、国連環境計画・金融イニシアティブ(以下「UNEP FI」)(※1)が提唱したポジティブ・インパクト金融原則(※2)に即した「ポジティブ・インパクト・ファイナンス(資金用途を特定しない事業会社向け融資タイプ)」の融資契約(以下「本件」)を締結いたしました。

ポジティブ・インパクト・ファイナンス(以下「PIF」)は、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト(ポジティブな影響とネガティブな影響)を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とした融資です。企業の活動、製品、サービスによるSDGs達成への貢献度合いを評価指標として活用し、情報開示することが最大の特徴です。

#### 【本件(シンジケート・ローン)の概要】

契約締結日	2020年6月25日
アレンジャー／エージェント	三井住友信託銀行
組成金額	150億円
資金用途	運転資金
貸出人(五十音順)	池田泉州銀行、滋賀銀行、中京銀行、百五銀行、百十四銀行、横浜銀行、三井住友信託銀行 他

三井化学グループは、「環境と調和した共生社会」「健康安心な長寿社会」「地域と調和した産業基盤」の実現を目指し、ESG 要素の経営・戦略への組み込みを積極的に行っています。特に、環境貢献価値 Blue Value®、QOL 向上貢献価値 Rose Value®(※3)の提供により、事業活動を通じて社会価値を創造し、SDGs 達成に貢献しています。

当社は、本件締結にあたり、三井化学グループが、SDGs の目標達成にインパクトを与える以下のテーマについて定性的、定量的に評価しました。

テーマ	内容	KPI(指標と目標)	SDGs
Blue Value®製品を通じた社会、環境、経済への貢献	自然エネルギー・非化石原料の使用、製品の軽量化・長寿命化を通じたGHG*削減、省エネ・省資源の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>Blue Value®製品 売上高比率 30%以上</li> <li>Blue Value®新規認定件数</li> <li>Blue Value®製品関連投資</li> </ul>	

Rose Value®製品を通じた社会、環境、経済への貢献	少子高齢化への対応、健康寿命の延長、食料問題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>•Rose Value®製品 売上高比率 30%以上</li> <li>•Rose Value®新規認定件数</li> <li>•Rose Value®製品関連投資</li> </ul>	
環境保全 (GHG・エネルギー、化学物質等の排出量削減)・化学物質管理	省エネルギーの推進、燃料転換、プロセス革新技術の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>•2030年度までの GHG 排出量削減率: ▲25.4%以上 (2005年度比)</li> <li>•エネルギー原単位低減率: 5年平均1%以上継続</li> <li>•最新の安全性情報提供: 100%継続</li> </ul>	
労働における安全・保安および衛生	無事故・無災害実現の徹底追求	<ul style="list-style-type: none"> <li>•重大事故発生数ゼロ継続</li> <li>•重視する労働災害の度数率:0.15 以下継続</li> </ul>	
人材の活用	人的生産性・満足度の最大化	<ul style="list-style-type: none"> <li>•女性管理職(課長級以上)比率(本体):10%以上</li> <li>•従業員エンゲージメント向上</li> </ul>	

\* 温室効果ガス。

本件は、株式会社日本格付研究所(代表取締役社長:高木 祥吉)より評価にかかる手続きのポジティブ・インパクト金融原則への準拠性、活用した評価指標の合理性について第三者意見(※4)を取得しています。

当社では、PIF 等のサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs の目標達成に資するお客さまの事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指してまいります。

以上

(※1) 国連環境計画・金融イニシアティブ (UNEP FI)

国連環境計画 (UNEP) は、1972 年に「人間環境宣言」及び「環境国際行動計画」の実行機関として設立された国連の補助機関です。UNEP FI は、UNEP と 200 以上の世界の金融機関による広範で緊密なパートナーシップであり、1992 年の設立以来、金融機関、政策・規制当局と協調し、経済的発展と ESG (環境・社会・企業統治) への配慮を統合した金融システムへの転換を進めています。

(※2) ポジティブ・インパクト金融原則

UNEP FI が 2017 年 1 月に策定した、SDGs (持続可能な開発目標) の達成に向けた金融の枠組です。企業が SDGs の達成への貢献を KPI で開示し、銀行はそのプラスの影響を評価して資金提供を行うことにより、資金提供先企業によるプラスの影響の増大、マイナスの影響の低減の努力を導くものです。融資を実行する銀行は、責任ある金融機関として、指標をモニタリングし、インパクトが継続していることを確認します。

(※3) 環境貢献価値 Blue Value®、QOL 向上貢献価値 Rose Value®

三井化学グループが目指す未来社会の姿「環境と調和した共生社会」と「健康安心な長寿社会」実現のため、提供する製品・サービスの環境および社会への貢献を見える化し、その価値をステークホルダー

一の方々と共有できるようにしたものです。製品・サービスを用途別に独自の指標で評価し、環境貢献価値の高いものを Blue Value<sup>®</sup>製品、QOL 向上貢献価値の高いものを Rose Value<sup>®</sup>製品として認定しています。

[https://jp.mitsuichemicals.com/jp/sustainability/mci\\_sustainability/contribution\\_value/index.htm](https://jp.mitsuichemicals.com/jp/sustainability/mci_sustainability/contribution_value/index.htm)

(※4) 株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/>